

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社
 コード番号 2374 URL <http://www.saint-care.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務・経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日

(氏名) 村上 美晴
 (氏名) 関根 竜哉

TEL 03-3538-2943

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,993	0.5	339	52.0	314	55.9	124	161.5
21年3月期第2四半期	10,044		223		201		47	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	1,735.09	1,733.93
21年3月期第2四半期	663.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	7,587	2,150	28.1	29,611.76
21年3月期	7,678	2,048	26.4	28,194.80

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,128百万円 21年3月期 2,026百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		0.00		400.00	400.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				600.00	600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,800	5.1	603	60.4	516	63.1	188	272.8	2,627.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	71,886株	21年3月期	71,886株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	0株	21年3月期	0株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	71,886株	21年3月期第2四半期	71,886株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の増加により景気が持ち直しつつあるものの、企業収益は本格的に回復しておらず、雇用情勢、消費活動の低迷により依然として厳しい状況にあります。

介護サービス業界では、介護サービス受給者数が増加している市場動向の中、介護従事者の人材確保、処遇改善を主眼として平成21年4月1日に介護報酬が3.0%の増加となる改定が行われ、外部の雇用環境の変化も影響し、採用の増加とともに経営環境にも好転の兆しが見えつつあります。

このような状況の下、当社グループでは、施設系サービスにおいては営業活動の強化による好調な集客により稼働率が向上いたしました。しかし、訪問系サービスにおいては介護スタッフの増員に努めたものの、同サービスの売上高は回復途上にあるため、売上高は99億93百万円（前年同期比0.5%減）となりました。また、正社員の稼働管理や徹底したコスト管理が、スタッフ稼働率の改善及び経費の削減につながったため、営業利益は3億39百万円（同52.0%増）、経常利益は3億14百万円（同55.9%増）、及び四半期純利益は1億24百万円（同161.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

施設系サービスにおいては、平成21年5月に開設したグループホームが同年6月には満床になるなど集客が好調に推移し稼働率が向上しました。訪問系サービスにおいては、当第2四半期連結累計期間に、採用活動の強化や給与制度の改定などの諸施策を実施し介護スタッフの増員に努めました。しかし、前連結会計年度に行った営業所の統廃合により減少したお客様数は回復の途上にあるため、売上高は91億21百万円（前年同期比1.2%減）となりました。損益面では稼働管理の取り組みが奏功し、営業利益は2億46百万円（同9.8%増）となりました。

・住宅リフォーム事業

住宅リフォーム事業は、手摺取付け、浴槽、トイレなどの小規模工事への注力、社内の福祉用具販売・貸与サービスとの連携の強化、地域ケアマネジャーへのケアリフォーム勉強会の開催並びに提案営業の実施、病院の地域医療連携室への提案営業の実施、ダイレクトメールの発送によるリピーターの確保などにより、施工件数は前年同期より増加し、売上高は5億83百万円（前年同期比7.6%増）となったものの、人材不足の状況を改善するために人員を採用し人件費が増加したことにより営業利益は32百万円（同6.1%減）となりました。

・その他事業

その他事業では、メディスンショップ・ジャパン株式会社において前連結会計年度に直営店が減少したことにより売上が減少したことや、セントワークス株式会社において介護事業者向け業務支援サービスの営業強化を行ったことにより人件費の増加等が発生したため、売上高は4億49百万円（前年同期比23.9%減）、営業利益は23百万円（同80.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より90百万円（前期末比1.2%）減少し、75億87百万円となりました。

流動資産は、前期末より88百万円（同2.5%）減少し、35億32百万円となりました。これは主に法人税等の支払等により現金及び預金が1億38百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より1百万円（同0.0%）減少し、40億55百万円となりました。これは主に有形固定資産が39百万円減少したことやのれんが76百万円減少したものの差入保証金が71百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より、2億50百万円（同8.9%）増加し、30億71百万円となりました。これは主に1年内償還予定の社債が3億円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より4億42百万円（同15.8%）減少し、23億66百万円となりました。これは主に長期借入金1億85百万円及び社債3億40百万円が流動負債への振替により減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より1億1百万円（同5.0%）増加し、21億50百万円となりました。これは主に利益剰余金が97百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、平成21年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積を考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

4 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税引前四半期純利益に重要な税務調整を加えた後の課税所得を基に未払法人税等を算定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

5 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	943,833	1,082,609
売掛金	2,300,608	2,150,259
たな卸資産	55,886	49,504
その他	250,956	349,498
貸倒引当金	18,924	10,713
流動資産合計	3,532,359	3,621,157
固定資産		
有形固定資産	626,867	665,921
無形固定資産		
のれん	1,200,235	1,276,538
その他	319,449	291,666
無形固定資産合計	1,519,685	1,568,205
投資その他の資産		
差入保証金	1,243,231	1,171,630
その他	685,459	671,412
貸倒引当金	19,996	20,176
投資その他の資産合計	1,908,694	1,822,865
固定資産合計	4,055,247	4,056,992
資産合計	7,587,607	7,678,150
負債の部		
流動負債		
買掛金	330,941	312,660
短期借入金	136,500	139,500
1年内返済予定の長期借入金	374,850	409,430
1年内償還予定の社債	480,000	180,000
未払金	1,297,315	1,206,457
未払法人税等	146,331	286,080
賞与引当金	42,632	42,360
その他	262,779	244,581
流動負債合計	3,071,351	2,821,069
固定負債		
社債	580,000	920,000
長期借入金	1,174,339	1,359,769
退職給付引当金	311,372	283,159
その他	300,453	245,807
固定負債合計	2,366,165	2,808,735
負債合計	5,437,516	5,629,804

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,009,839	1,009,839
資本剰余金	841,789	841,789
利益剰余金	276,487	179,100
株主資本合計	2,128,115	2,030,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	555	3,917
評価・換算差額等合計	555	3,917
新株予約権	8,565	-
少数株主持分	12,853	21,534
純資産合計	2,150,090	2,048,345
負債純資産合計	7,587,607	7,678,150

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	10,044,903	9,993,391
売上原価	8,798,185	8,655,284
売上総利益	1,246,718	1,338,106
販売費及び一般管理費	1,023,374	998,651
営業利益	223,343	339,454
営業外収益		
受取利息	5,560	4,047
受取配当金	1,942	1,047
受取保険金	-	6,148
受取家賃	15,942	8,486
補助金収入	15,050	-
その他	15,198	10,109
営業外収益合計	53,694	29,839
営業外費用		
支払利息	41,169	34,560
その他	34,039	20,119
営業外費用合計	75,208	54,680
経常利益	201,829	314,614
特別利益		
投資有価証券売却益	10,571	-
役員退職慰労未払金戻入益	55,188	-
受取和解金	-	9,467
その他	973	12
特別利益合計	66,732	9,480
特別損失		
固定資産除却損	1,615	11,130
投資有価証券売却損	13,345	-
投資有価証券評価損	41,502	-
特別損失合計	56,463	11,130
税金等調整前四半期純利益	212,098	312,964
法人税等	171,465	196,376
少数株主損失()	7,071	8,140
四半期純利益	47,705	124,728

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	介護サービス事業 (千円)	住宅リフォーム事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,089,254	542,382	413,266	10,044,903		10,044,903
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	140,453		177,767	318,221	(318,221)	
計	9,229,708	542,382	591,034	10,363,125	(318,221)	10,044,903
営業利益	224,681	35,048	120,827	380,557	(157,213)	223,343

(注) 1. 事業区分は、役務及び商品の種類、性質及び提供方法を考慮して区分しております。

2. 各区分の主なサービス提供内容

- (1) 介護サービス事業.....訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、居宅介護支援サービス、訪問看護サービス、デイサービス、グループホーム、ショートステイ、有料老人ホーム
- (2) 住宅リフォーム事業.....住宅改修サービス
- (3) その他事業.....人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局、ペット及びペット用品販売、動物病院

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	介護サービス事業 (千円)	住宅リフォーム事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,117,536	583,773	292,081	9,993,391		9,993,391
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,938		157,493	161,431	(161,431)	
計	9,121,474	583,773	449,574	10,154,823	(161,431)	9,993,391
営業利益	246,662	32,923	23,606	303,192	36,262	339,454

(注) 1. 事業区分は、役務及び商品の種類、性質及び提供方法を考慮して区分しております。

2. 各区分の主なサービス提供内容

- (1) 介護サービス事業.....訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、居宅介護支援サービス、訪問看護サービス、デイサービス、グループホーム、ショートステイ、有料老人ホーム
- (2) 住宅リフォーム事業.....住宅改修サービス
- (3) その他事業.....人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局、ペット及びペット用品販売、動物病院

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。